

コンプライアンス

コンプライアンスとは

- 法令遵守
- 企業が法律やナイキなどのごく基本的なルールに従って活動すること
- 社会的規範を守る
- 企業倫理（モラル）を守る

コンプライアンス違反関連倒産月次推移

2015年度に「コンプライアンス違反」が一因で倒産した企業は190件



東京商工リサーチ調べ

違反内容別、「粉飾」が前年度より増加

不正な会計処理、虚偽の決算書作成「粉飾」：28件

※前年度比7.6%増、前年度26件

脱税や滞納など「税金関連」：50件

※同26.4%減、同68件

補助金や介護・診療報酬などの「不正受給」：14件

※同22.2%減、同18件

詐欺・横領：10件

※前年度11件

賃金未払いなどの「雇用関連」：9件

※同3件

食品の産地偽装など「偽装」：4件

※同7件

「その他」70件の中には、建設業法や医師法、など業法違反、法人税法や特定商取引法などの法令違反、行政処分、代表者の逮捕などを含まれている。

産業別、サービス業他が最多の53件

- サービス業他が53件（構成比27.8%）
- 製造業：28件
- 建設業：26件
- 卸売業：24件
- 運輸業：20件
- 小売業：18件
- 情報通信業：7件
- 金融・保険業と不動産業：各6件
- 農・林・漁・鉱業：2件

最も多かったサービス業

- 飲食関連：10件
- 医療、老人福祉関連：10件
- 建築設計業：4件
- ホテル・旅館：3件

※これらの中には売上不振から税金を滞納したケースや、経営不振から介護報酬や診療の不正請求などに手を染めたケースもみられた。

コンプライアンスとガバナンスの違い

【コンプライアンス】

法令遵守、法律や社会的モラルを守ったうえでの
企業活動

【ガバナンス】

適正かつ効率的な業務執行を確保するため、医師
決定の透明性を高めるとともに、監視・監督機能が
適切に組み込まれた経営体制

コンプライアンス違反事例

7月15日滋賀県警は、パワハラ行為を繰り返していた男性警部ら3人を減給などの懲戒処分を発表した。大津北署に勤務する警部と警部補は、部下に対し顔面を殴ったり、火の付いたライターを近づけたりなどを行っていた。また別の署では、巡査部長が人格を否定する叱責を繰り返し、バケツで頭をなぐるなどの行為もあったとしている。首席監察官は、「今後は指導を強化し、再発防止に努めて参りたい」とコメントした。

コンプライアンス違反事例

特別養護老人ホーム「いずみ熊谷」で昨年、入居者に間違った薬を飲ませ、2人が死亡していたことが家族からの県への通報で今月わかった。埼玉県は施設に再発防止を指導し、県警は業務上過失致死容疑で捜査している。同施設は、県への報告が必要な事故が、今回の事故の2件とあわせて計2件起きていたが報告していなかった。事故を隠すために報告しなかったと認め、謝罪した。

コンプライアンス違反事例

育児中の従業員が配置転換を命じられ、育児と仕事の両立ができなくなったとして大阪地裁に仮処分を申し立てた女性従業員が、2016年2月3日、勤務先である京阪ステーションマネジメント社と和解した。申し立てによると、配置転換により、終業時間が遅くなる改札業務を命じられ、「子どもを保育園に迎えに行けない」と命令の撤回を求めたが会社側が応じなかったとのこと。その後この女性従業員は休職し、大阪地裁に仮処分を申請していた。

コンプライアンス違反事例

2015年8月7日、警視庁は飲酒運転で人身事故を起こし、同乗者に身代わりの虚偽申告をさせた男性巡査を懲戒免職処分にした。6月11日男性巡査は、乗用車を運転中に前方不注意で信号待ちの車に追突。酒気帯び運転だったため、同乗していた友人の女性に身代わりを頼み、女性が運転していたと虚偽の申告をさせた。男性巡査は、「酒気帯び運転で事故を起こしたことが明るみに出れば職を失うと思った」と話している。

コンプライアンス違反事例

大阪市の会社員男性が競技用の「ピスト自転車」を公道で運転し、ブレーキの装置が不十分だったため道路交通法違反容疑で2回摘発された。7月31日、大阪府公安委員会は6月から始まった自転車の安全講習制度に基づいて全国で初めて受講を命じた。会社員の男性は7月9日と15日、通勤の途中に交通切符（赤切符）の交付を受けた。府警の調べに「後輪にブレーキがついていたので問題ないと思った」と話している。

コンプライアンス違反事例

残業は、上司の管理の元によっておこなわれるものだとして定められており、上司の知らないところで自主的に残業をおこなうことはコンプライアンス違反となります。

労働基準法では、労働者の労働時間が法定労働時間を超過した分の割増賃金を支払わなければならないと定められています。いわゆる残業代ですね。

残業代が正しく支払われなかったり、残業代を目的とした自主的な残業をしたりするのはコンプライアンス違反となり、加えてこれを管理する上司も責任が問われます。

行動規範

1. 人権の尊重
2. サービスの質の向上
3. 地域との共生
4. 社会的ルールへの遵守
5. 説明責任の徹底
6. 利害関係者との適切な関係
7. 労務管理
8. 適切な人事
9. 公共的、公益的取組
10. 組織統治の確立
11. 財務基盤の安定化

行動規範

- ① 家族が突然面会にきて、見られても恥ずかしい
と思えるものではありませんか？
- ② 自分の良心に反していませんか？
- ③ 問題があると思っけていても、他の人もやっけてい
る、或いは以前からやっけているという理由でな
んとなく継続していませんか？
- ④ 法律に違反していませんか？

事例検討

事例 1 : いつものように車で出勤しようと思っていたが、子どもから「お父さん、お酒臭い」と言われてしまった。さて、車で出勤して良いものかどうか・・・。

上記の「問題点」「対策」「効果」をそれぞれあげてください。

事例検討

事例2：実習担当者のAさんは、実習生B子の連絡に便利だと思って、携帯電話番号とメールアドレスを実習生B子に教えたが、B子がメールで男女間の悩みも相談してくるようになってきた。

上記の「問題点」「対策」「効果」をそれぞれあげてください。

事例検討

事例3：利用者の情報を入力していたが、時間的に遅くなったので個人のUSBメモリに保存し、持ち帰って仕事の続きをしようとした。

上記の「問題点」「対策」「効果」をそれぞれあげてください。

事例検討

事例4：パソコンで個人情報に関する作業をしている際に用事ができ、パソコンの入力画面もそのまま席を離れた。

上記の「問題点」「対策」「効果」をそれぞれあげてください。

事例検討

事例5：自宅のトイレトーパーがなくなったため、会社のトイレトーパーを一ついただいで帰った。

上記の「問題点」「対策」「効果」をそれぞれあげてください。

事例検討

事例6：飲み会の席に車で行ったにもかかわらず、上司にお酒を勧められたので、少しだけならと飲んだ。

上記の「問題点」「対策」「効果」をそれぞれあげてください。

事例検討

事例7：事業所で起こった利用者とのかかわりを、友達との席で事細かく話をした。

上記の「問題点」「対策」「効果」をそれぞれあげてください。

事例検討

事例 8 : 遅刻しそうになり、友達にタイムカードを押しておいてと頼む。

上記の「問題点」「対策」「効果」をそれぞれあげてください。

事例検討

事例 9 : 飲み会終了後、居酒屋の前で大騒ぎした。

上記の「問題点」「対策」「効果」をそれぞれあげてください。

事例検討

事例 10 : SNSに会社の悪いところや利用者の批判などをする。

上記の「問題点」「対策」「効果」をそれぞれあげてください。